

キ所ナリ、略中本郡邦俗多度ノ郡、或ハ横ノ郡トモ稱セリ、多度郡ノ名ハ、北島村親卿ノ記ニモ載ス、和漢三才圖會等ノ俗書ニ、伊勢國郡管内十二、多度錦島御座島ヲ加テ以上十五郡トス、及拾芥抄ニ十二郡トシ河曲ヲ省ケリ、多度錦島御座ノ三名ナシ、今考ニ錦島ハ、紀州牟婁郡ニ隸リ、御座ハ志州英虞郡ニ隸ル、往昔本州ニ混屬セリ、其時世ニ桑名ノ外ニ美濃州ニ屬セル多度ヲ以テ、本州ノ存下ナリシヲ加ヘテ十五郡ト稱スナルベシ、故ニ多度桑名同郡ナレバ、今モ通ジテ私稱ス、横ノ郡ハ員辨郡ハ、西北ニ居シテ縦トシ、本郡ハ東南ニ蟠テ横ナル地勢ヲ以テ俗稱スナルベシ、略中本郡疆域ハ、東ハ滄海ヲ限リ、尾張州知多郡及海東郡ニ接ス、西ハ員辨郡界ヲ限リ、南ハ朝明郡界ヲ限リ、北ハ尾張州海西郡、美濃州揖斐郡及多藝郡ヲ限レリ、

〔倭姬命世記〕十四年仁垂九月一日、遷幸于伊勢桑名野代宮、

〔日本書紀二十八〕元年六月丙戌、天皇宿于桑名郡家、即停以不進、丁亥、高市皇子遣使於桑名郡家、以奏言、遠居御所、行政不便、宜御近處、即日天皇留皇后而入、不破比及郡家、尾張國司小子部連鉏鈞率二万衆歸之、

員辨郡

〔勢陽五鈴遺響員辨郡〕〔員辨郡略〕中本郡封疆ハ、東桑名郡界ニ限リ、西ハ近江國犬上郡越智郡

及美濃國石津郡ニ跨テ界ヲ限リ、南ハ朝明郡界ニ限リ、北ハ美濃國石津郡界ニ限レリ、

〔續日本紀二十九〕神護景雲三年五月癸未、伊勢國員辨郡人猪名部文丸獻白鳩、賜爵二級、當國稻五百束、

朝明郡

〔勢陽五鈴遺響朝明郡〕〔朝明郡〕或朝家ニ作ル、朝明ト稱ス、名義ハ或説ニ朝明山ト歌ニ稱シ、當

今員辨郡ヨリ山脈連綿シテ街道ノ乾位ハ纔ニ小山アリ、西南ニ聯リテハ田光山、國見嶽、水無瀬

山等ノ高嶽列テ聳タリ、近江國ニ隣比シテ界ス、是ヲ概シテ朝明山ト咏タルナリ、略中姓氏錄云、

朝家直火明命之後也云々、略中然レバ火明命ノ御名ヨリ起リテ、昭明ノ義ヲ採用テ朝明ト郡名